

## 5. 次年度に向けた課題の検討

平成 19 年度夏季の WBGT 情報の本格提供より、主要 6 都市（東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡）における WBGT 観測値をリアルタイムで公開するとともに、全国主要都市の今日・明日（夕方の段階では明日・明後日）の予測値を提供しており、熱中症予防情報サイトが広く認知されていたため、天候不順の夏にもかかわらず 4～9 月の間で約 171 万件のアクセス数を記録した。このサイトは、熱中症の予防・啓発に関連して定常的に利用頂けるサイトとして認識され、単なる閲覧サイトとしてではなく、住民（佐賀県・八王子市など）あるいは職員のための情報提供サイトとしても広く利用頂くことができた。

また、本年度の調査を通じて、これまでの観測で蓄積されたデータおよび気象庁観測資料を用いた解析を通して、ある程度の精度を持って WBGT を推定する手法を開発することができ、併せて、都心と郊外、都心部の様々な生活空間における暑熱環境データについて、限られた期間ではあるが、データ取得と解析によりその傾向を知ることができた。

次年度は、引き続き安定した精度の高い情報を提供するとともに、熱中症予防情報の充実を図ることを目的として、以下の項目について、実施またはそのための観測・解析を行う必要がある。

- ・ 黒球温度計のない主要都市での WBGT 推定値（観測推定値）の提供
- ・ より利用しやすい情報提供ホームページへの改修
- ・ 都心と郊外、生活環境の場での WBGT の基準観測地点との違いの連続観測と解析
- ・ 気象庁数値予報データを用いた WBGT 推定式・予測式の精度向上（湿球温度度の精度向上）